

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元のHPなどでご確認ください。

公益財団法人 光科学技術研究振興財団 令和5年度 晝馬輝夫光科学賞の募集

対象者：日本の光科学の基礎研究や光科学技術の発展に貢献する研究において、独自に独創的な研究業績を挙げた研究者個人（応募締切時点で45歳未満の方）。外国籍の場合は、日本の大学等公的機関に5年以上在籍し、その間に対象となる研究成果の中核を形成された方。学識経験者の推薦書によるものとする。賞状・賞牌・副賞500万円。応募締切：令和5年6月30日（金）必着。

公益財団法人 光科学技術研究振興財団 令和5年度研究助成の募集

研究に対する助成：対象課題；〔第1課題〕光科学の未知領域の研究 ―とくに光の本質について―。〔第2課題〕光科学技術による生命科学分野の先端研究。助成金総額：5,000万円（継続助成を含む）。応募締切：令和5年7月14日（金）必着。

Chemist Award BCA & Lectureship Award MBLA 2023 の募集

対象分野：有機合成化学およびその関連分野。応募資格：(1)国内の大学またはこれに準ずる研究機関において研究活動に従事し、2023年4月1日の時点で満40歳未満の研究者。なお、ライフイベント（出産・育児・介護）により研究を中断（休職）した場合、その期間に相当する月数を年齢制限の上限から延長する。(2)国籍は問わないが、日本国内の大学または研究機関で実施された研究を対象とする。(3)他者の推薦のある者。(4)各賞（BCA・学会賞・奨励賞・進歩賞）の受賞経歴は問わない。表彰：〔Chemist Award BCA〕(1)記念品（盾）の授与、(2)財団HP、関連専門誌等での発表。〔Lectureship Award MBLA〕(1)万有シンポジウム（札幌、仙台、福岡

のいずれか）での研究内容の発表および表彰式、(2)海外の著名大学および研究機関における講演（旅費支給）、(3)財団HP、関連専門誌等での発表。選考方法：選考委員会による選考を行う。〔Chemist Award BCA〕(数名)：2023年10月頃決定予定。〔Lectureship Award MBLA〕(1名)：2024年2月頃決定予定。応募方法：財団HPからご応募下さい。応募締切：2023年8月20日（日）。応募・問合せ：102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア 公益財団法人MSD生命科学財団〔BCA/MBLA〕事務局 https://www.msd-life-science-foundation.or.jp/symp/bca/bca_entry.html

公益財団法人岩谷直治記念財団 第50回（2023年度） 「岩谷直治記念賞」・ 「岩谷科学技術研究助成」の募集

岩谷直治記念財団は設立50周年を記念し、例年の募集に加え特別研究助成と対象者を広げた岩谷直治記念賞を募集します。募集要項および申請書は財団HPより入手可能。詳細は下記HPをご確認下さい。日本化学会への推薦依頼の締切日は2023年7月14日（金）必着となります。「岩谷直治記念賞」：エネルギーおよび環境に関する研究開発で産業上の実績が認められるものの表彰。対象者：日本の学会・協会またはその他機関等から推薦を受けた個人またはグループ。表彰内容：賞状、賞牌、副賞500万円。募集期間：2023年6月1日（木）～8月31日（木）。〔岩谷科学技術研究助成〕：エネルギーおよび環境に関する優れた研究に対する助成。対象者：日本の国・公・私立大学（大学附属または附属研究所を含む）および高等専門学校を主たる所属先とする研究者個人またはグループ。助成内容：(1)1年間を基本とし助成限度額200万円、(2)3年間を基本とし助成限度額1,000万円。募集期間：2023年6月1日（木）～7月31日（月）。問合せ：岩谷直治記念財団事務局 電話(03)6225-2400 E-mail: information@

iwatani-foundation.or.jp HP (<https://www.iwatani-foundation.or.jp>)

令和5年度 地球シミュレータ機構戦略課題 「チャレンジ利用課題」の募集

国立研究開発法人海洋研究開発機構では、令和5年度地球シミュレータ機構戦略課題「チャレンジ利用課題」を募集いたします。「チャレンジ利用課題」は、海洋研究開発機構の第4期中長期目標・中長期計画における「大型研究開発基盤の供用及びデータ提供等の促進」に基づき、科学技術分野の研究・開発および学術研究を推進するため「所内課題」〔公募課題〕に加えて、挑戦的な利用や大型計算機の利用推進等による利用を目的として、機構の内外を問わず募集*するものです。*機構外からの利用課題は機構職員のカウンターパーソンが必要です。詳細は以下のHPをご覧ください。令和5年度地球シミュレータ機構戦略課題「チャレンジ利用課題」の募集についてHP (<http://www.jamstec.go.jp/es/jp/project/r05challenge-es.html>)。皆様からのご応募をお待ちしております。

公益財団法人住友財団 2023年度基礎科学研究助成 および環境研究助成の募集

公益財団法人住友財団では表題の研究募集をしています。基礎科学研究助成は、理学（数学、物理学、化学、生物学）の各分野およびこれらの複数がまたがる分野の基礎研究で萌芽的なもの（それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む）が対象。環境研究助成は、一般研究と課題研究があり、一般研究は環境に関する研究（分野は問わない）、課題研究（2023年度募集課題）は「激動の時代における環境問題の理解および解決のための学際研究または国際共同研究」が対象です。応募期間は、いずれも2023年4月15日（土）～6月30日（金）です。財団のHP (<http://www.sumitomo.or.jp/>) から応募ページにアクセスし、申請を行って下さい。募集要項等は、財団のHPに掲載しております。問合せは住友財団企画部助成担当 電話(03)5473-0161 E-mail: sumitomo-found@msj.biglobe.ne.jp

第41回（令和5年度） 大阪科学賞受賞候補者 推薦募集のお知らせ

大阪府・大阪市・（一財）大阪科学技術センターでは、1983年から、関西地域で自然科学および新技術の発展に顕著な業績を上げられた50歳以下の方2名を表彰しており、現在、第41回（令和5年度）大阪科

学賞の受賞候補者の推薦を募集しています。応募資格：自然科学（理学、工学、農学、生物学、医学、薬学、情報科学とそれらの学際的分野）および新技術の発展に顕著な業績を上げられた、1973年1月1日以降に出生された方で、主要な業績が関西地域（大阪、京都、奈良、兵庫、和歌山、滋賀、福井）で行われたものであること。賞金：150万円/件。推薦締切日：2023年6月30日（金）事務局必着。詳細/応募方法：HP (<https://osaka-prize.ostec.or.jp>) に募集要項等詳細を掲載。自薦も可能。問合せ：（一財）大阪科学技術センター内 大阪科学賞事務局 東（あずま）E-mail: o-kagakusyou@ostec.or.jp 電話(06)6443-5320 FAX(06)6443-5319

ノボザイムズ ジャパン 研究ファンド2024年 助成プロジェクト& 研究奨励賞募集

ノボザイムズ ジャパン(株)では、酵素や微生物を利用した独創的なバイオテクノロジー研究の振興、発展への貢献を目的とし、研究者に研究助成金を授与し、併せてノボザイムズ ジャパン研究奨励賞を贈呈し顕彰します。対象の研究領域：酵素や微生物を利用した独創的なバイオテクノロジー研究。応募資格：大学または公的研究機関において、上記研究分野に携わる常勤の研究者。研究助成金：1件につき100万円（3件の予定）。応募期間：2023年5月15日（月）～8月15日（火）。助成対象期間：2024年1月から1カ年。応募方法：詳細はHP (<https://www.novozymesjapan.com>) をご参照下さい。選考方法：社内外の委員が構成されるノボザイムズ ジャパン研究ファンド選考委員会において厳正に審査し、採否を決定致します（9月初旬を予定）。問合せ：ノボザイムズ ジャパン研究ファンド事務局 E-mail: mmb@novozymes.com

公益財団法人 大隅基礎科学創成財団 第7期研究助成公募のご案内

このたび、大隅基礎科学創成財団では、第7期研究助成公募〔基礎科学（一般）〕〔基礎科学（酵母）〕（応募期間：2023年5月8日（月）～7月3日（月））を行うこととなりました。研究助成金：〔基礎科学（一般）〕1件につき1,200万円を上限とします。6～10件採択予定。〔基礎科学（酵母）〕1件につき500万円を上限とします。3件程度採択予定。研究助成期間：2023年11月～2025年10月末までの原則2年間。詳細は、大隅基礎科学創成財団HP 研究助成公募要項ページ (<https://www.ofsf.or.jp/activity/>) をご参照下さい。連絡

先：226-8503 神奈川県横浜市緑区
長津田町 4259 S2-16 公益財団法人
大隅基礎科学創成財団 事務局
電話 (045) 459-6975 FAX (045)
459-6976 E-mail: event@ofsf.or.jp

日本石鹼洗剤工業会
2024 年度油脂、
および石けん・洗剤の
原料に関する
新規用途開発研究助成の募集

日本石鹼洗剤工業会では 2024 年度
油脂、および石けん・洗剤の原料に
関する新規用途開発研究助成の募集
をします。詳細は下記 HP 参照。助
成額：1 件 50 万円で 2 件上限。対

象研究：油脂製品、および油脂を原
料とする製品（脂肪酸・グリセリン
・アルコール・アミン等）の新規
用途開発研究、油脂製造プロセスに
おける脱炭素・SDGs などに寄与す
る研究、藻類等新たな原料油脂の
研究など、石けん・洗剤のサプライ
チェーン上にある研究とします。対
象者：大学、高専、公的研究機関に
所属する研究者。応募方法：応募用
紙は下記当工業会 HP で 6 月半ばよ

リダウンロード可。必要事項を記載
の上、2023 年 8 月 31 日 (木) までに
事務局まで郵送下さい。選考方法：
選考は日本油化学会に委託し当工業
会理事会で決定。選考結果は 2024
年 1 月末までに通知。連絡先：103-
0027 東京都中央区日本橋 3-13-11
日本石鹼洗剤工業会 電話 (03)
3271-4301 <https://jsda.org/>

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- ① “掲示板”欄への掲載申込みは、本会会員を対象とした化学に関連する内容に限りま。
- ② 掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③ 同一原稿の掲載は 1 回に限ります。
- ④ 講演会などの行事の開催案内は掲載できません。本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

②字数制限と掲載例

- ① 原稿は 600 字以内で作成して下さい（英文は和文の 0.55 字で換算）。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ② 掲載例として本会ホームページに最新号の PDF 版を公開しております。
<https://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry> より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

③原稿締切日と掲載月

- ① 原稿締切日は、毎月 25 日です。前月 26 日から当月 25 日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ② 通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

④原稿作成と投稿方法

- ① 原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。

②専用フォーマット使用方法

- A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
- B) 機種に依存する文字の注意：機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ；アｶｶ, 記号（約物）；,。〔（/ 等
- ・ローマ数字；I II III IV, 丸数字；①②③④

- C) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避け

て下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。

- D) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML 形式）をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P$ ^{2 +}
・下付； $CO_2 \rightarrow CO$ ₂
・イタリック；*italic* → <I> italic </I>

- ③ 原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意ください。

- ④ 投稿が完了しましたら、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。

- ⑤ 投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑥送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ① 原稿締切日（当月 25 日）まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に先に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mail にて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
- ② 原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

⑦問合せ先

【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部
電話 (03) 6807-8212 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp